

草の根無償「エル・ポルベニル市パドレ・ビセンテ・アギラル初中等学校整備計画」竣工式

2022年2月9日、サンタ・アナ県エル・ポルベニル市において、「エル・ポルベニル市パドレ・ビセンテ・アギラル初中等学校整備計画」の竣工式を実施しました。同竣工式には、有吉大使夫妻、ソリト・エル・ポルベニル市市長、オランテス同校校長、学校関係者、児童、保護者及び当館館員が出席し、テープカット、記念碑除幕、記念植樹等を行いました。

本計画は、草の根・人間の安全保障無償資金協力によるもので、同校において3教室新設、3教室改修、厨房兼倉庫の建設及び外構工事（全床面積 519 m²）を行いました。プロジェクト総額は144,656.00 米ドルで、その内日本政府は 126,631.00 米ドル、エル・ポルベニル市役所は 7,700.00 米ドル、そして地域住民は 10,325.00 米ドルを拠出しました。また、教育省が机や椅子などの備品を一部提供しました。

実施前の教室は 50 年以上も前に建設されたものであり、十分な修繕及び改修がなされなかったため、至る所に破損箇所があり、教師と児童の安全が確保されていませんでした。また、厨房設備がなかったため、子どもたちの給食を配布する際には、保護者が自宅で準備をして学校まで運んでくる必要がありました。案件完了後は、新設された教室や修繕された教室で、安全かつ雨漏りや雨風に悩まされることなく、生徒が学習できるようになりました。また、厨房兼倉庫が整備されたため、保護者への負担が軽減され、子どもたちに安全に給食を配給できるようになりました。

有吉大使は挨拶の中で、本事業を通じてエルサルバドルにおける人間の安全保障の理念を踏まえた開発に日本が貢献できていることは誠に喜ばしく、日本及び日本国民の誇りとするところであると述べました。また、同校の児童が自分自身と地域の未来のために勉強にしっかりと取り組み、教師や保護者の方々が、在校生だけでなく、次世代の生徒のためにも快適な学習環境を維持していくことを期待していると述べました。

受益者の声

このようなきれいに整った教室で授業を受けられることを大変誇らしく思うとともに嬉しく思っています。日本の皆様、本当にありがとうございました。

同校生徒の声



以前の校舎は建築から 50 年以上経過しており、思い出深くもありましたが、安全を維持する上では増築及び改築が必要でした。日本、教育省、保護者、学校関係者の支援のお陰で本案件を完了することができました。本当にありがとうございます。

オランテス校長



除幕式



テープカット



記念品授与



マキリシュアット植樹



視察



在校生の民族舞踊披露



同校生徒作成ポスター(案件前・案件後)



館員から生徒への日本文化紹介

実施前



実施後



増築された教室



新設された厨房

